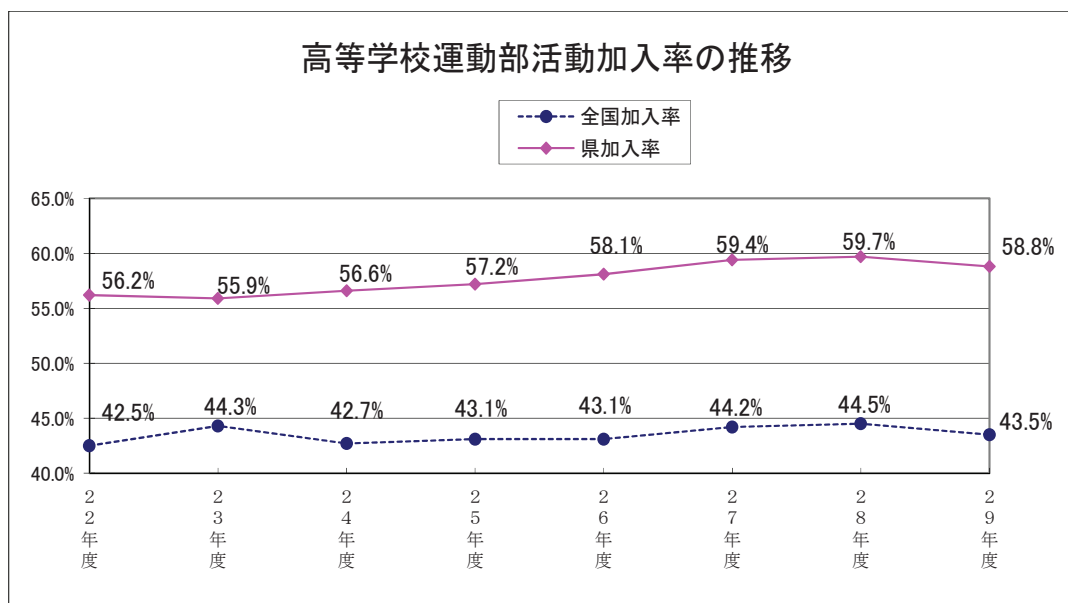


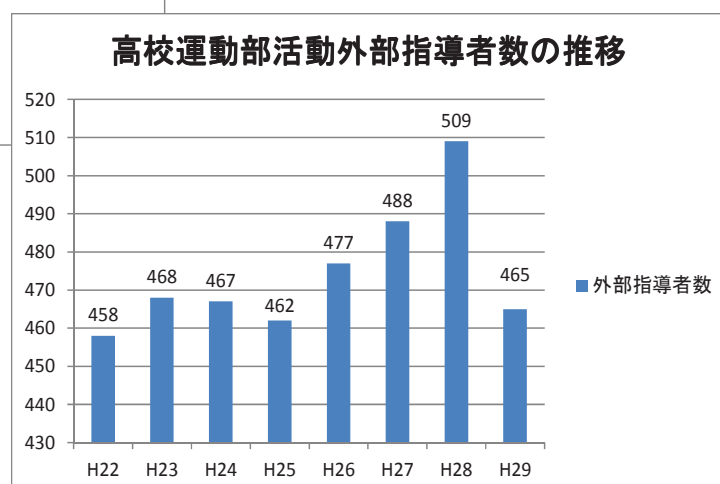
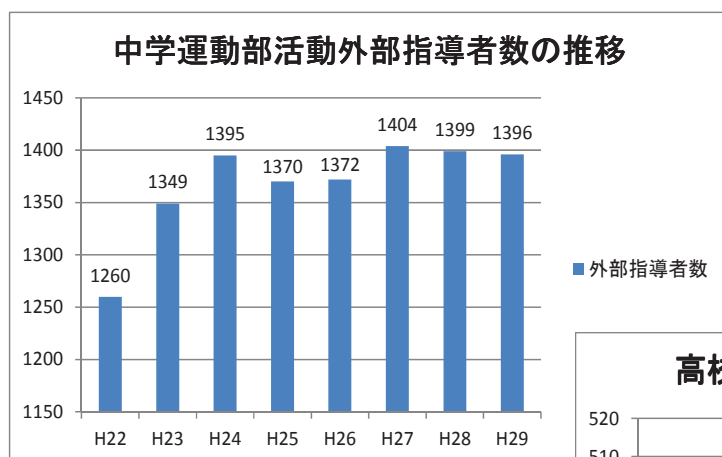
9. 高等学校運動部活動加入率の推移

【県教育委員会調べ】



10. 外部指導者数の推移

【県教育委員会調べ】



11. 朝食摂取状況

【県教育委員会調べ】

◆児童生徒の朝食摂取状況

《 質問 》 毎日朝食を食べていますか。

- 《 回答 》
- 1 毎日食べている
 - 2 どちらかといえば食べている
 - 3 どちらかといえば食べていない
 - 4 まったく食べていない

朝食摂取率

朝食欠食率

全国学力学習状況調査

※H29は平成29年4月18日調査実施(悉皆調査)

	山形県(小6)		全国(小6)		山形県(中3)		全国(中3)	
	毎日食べている	まったく食べていない	毎日食べている	まったく食べていない	毎日食べている	まったく食べていない	毎日食べている	まったく食べていない
H19	88.8%	0.3%	86.3%	0.8%	85.1%	1.1%	80.5%	2.3%
H20	89.1%	0.4%	87.1%	0.8%	85.7%	1.1%	81.1%	2.3%
H21	90.1%	0.4%	88.5%	0.7%	86.3%	0.9%	82.2%	2.1%
H22	91.6%	0.5%	89.0%	0.6%	87.0%	0.7%	83.5%	1.9%
H23	90.9%	0.2%	(H23は県独自調査)		86.9%	0.8%	(H23は県独自調査)	
H24	90.0%	0.2%	88.7%	0.8%	87.3%	1.1%	83.9%	1.8%
H25	90.3%	0.3%	88.7%	0.7%	88.5%	0.8%	84.3%	1.7%
H26	90.8%	0.3%	88.1%	0.7%	87.5%	0.7%	83.8%	1.8%
H27	91.0%	0.3%	87.6%	0.9%	87.5%	0.9%	83.8%	1.9%
H28	89.9%	0.3%	87.3%	0.9%	87.8%	0.7%	83.3%	1.8%
H29	89.1%	0.4%	87.0%	0.9%	87.1%	1.0%	82.7%	1.9%

※H29調査人数 山形県(小6):8,800人 全国(小6):1,012,103人 山形県(中3):9,450人 全国(中3):1,023,817人

12. スポーツ推進委員数

【県教育委員会調べ】

各市町村別スポーツ推進委員数

平成29年10月1日現在

市町村名	委員人数			市町村名	委員人数		
	男性	女性	計		男性	女性	計
山形市	75	35	110	真室川町	6	4	10
寒河江市	14	5	19	大蔵村	10	2	12
上山市	22	4	26	鮭川村	7	2	9
村山市	15	10	25	戸沢村	5	3	8
天童市	17	10	27	米沢市	23	6	29
東根市	8	12	20	長井市	9	9	18
尾花沢市	14	6	20	南陽市	20	5	25
山辺町	11	4	15	高畠町	16	6	22
中山町	10	4	14	川西町	20	2	22
河北町	7	2	9	小国町	6	4	10
西川町	8	2	10	白鷹町	11	7	18
朝日町	5	4	9	飯豊町	9	3	12
大江町	7	3	10	鶴岡市	74	19	93
大石田町	8	4	12	酒田市	57	21	78
新庄市	9	6	15	三川町	5	1	6
金山町	7	5	12	庄内町	17	3	20
最上町	9	3	12	遊佐町	11	7	18
舟形町	6	4	10	合計	558	227	785

13. 体育・スポーツ施設設置数、学校体育施設開放状況一覧表

【県教育委員会調べ】

体育・スポーツ施設設置数

【出典:スポーツ庁 我が国の体育・スポーツ施設(平成29年3月)】

総数	学校体育・スポーツ施設					大学・高専 体育施設	公共スポーツ施設		民間 スポーツ 施設	
	計	小学校	中学校	高等学校	専修・ 各種学校		計	公立社会教育施設 等に付帯するス ポーツ施設		社会体育 施設
2,368	1,422	751	360	309	2	60	751	96	655	135

学校体育施設開放状況一覧表

平成29年5月1日現在

区 分		小学校	中学校	義務教育学校	高等学校(公立)	合 計
屋外運動場	設置校数	251	91	1	44	387
	開放校数	225	79	1	4	309
	開放率	89.6%	86.8%	100.0%	9.1%	79.8%
体育館	設置校数	254	95	1	47	397
	開放校数	226	86	1	11	324
	開放率	89.0%	90.5%	100.0%	23.4%	81.6%
武道場	設置校数	0	67	1	45	113
	開放校数	0	44	1	2	47
	開放率	0%	65.7%	100.0%	4.4%	41.6%
水泳プール (屋外)	設置校数	228	31	1	6	266
	開放校数	5	0	0	0	5
	開放率	2.2%	0.0%	0.0%	0%	1.9%
水泳プール (屋内)	設置校数	1	0	0	2	3
	開放校数	0	0	0	0	0
	開放率	0%	0%	0%	0%	0.0%

※上記数値は、学校体育施設設置状況調査票(教育庁総務課学校施設担当)による。

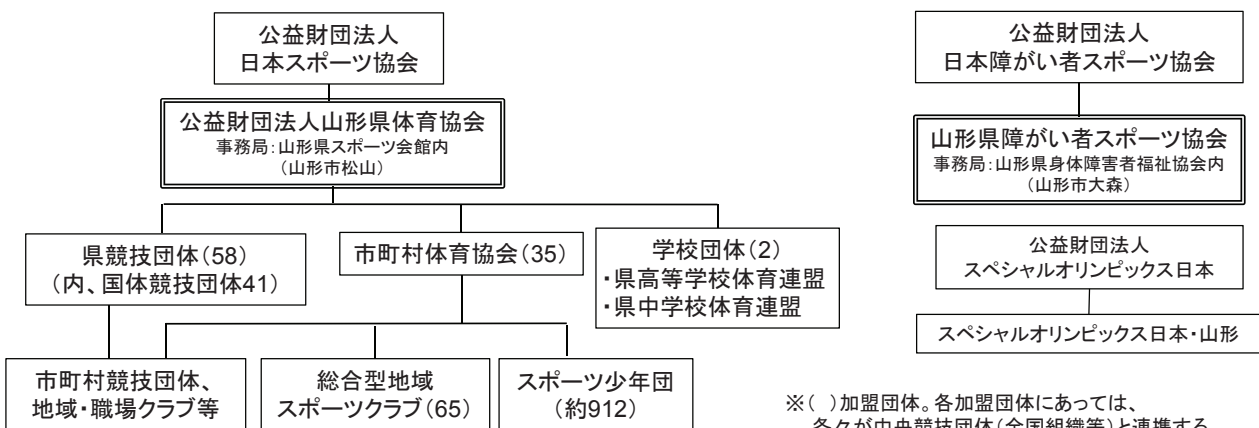
※設置校数は、小・中・高等学校とも本校、分校の合計数である。

※高等学校(公立)とは、県立・市立高等学校である。

14. 山形県のスポーツ関係団体等

【県教育委員会調べ】

○山形県体育協会・山形県障がい者スポーツ協会関係



※()加盟団体。各加盟団体によっては、
各々が中央競技団体(全国組織等)と連携する。

○生涯スポーツ・企業スポーツ関係(チーム)

- ・山形県スポーツ推進委員協議会(約780人)
事務局:県スポーツ保健課内
- ・山形県レクリエーション協会(21) 事務局:県スポーツ会館内
- ・山形県スポーツ指導者協議会(約2,400人) 事務局:県スポーツ会館内
- ・山形県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会
事務局:公益社団法人山形県スポーツ振興21世紀協会(H30年度現在)
- ・山形県企業スポーツ振興協議会(47)
事務局:県観光文化スポーツ部県民文化スポーツ課内
- ・プレステージ・インターナショナル アランマーレ(企業チーム)
バレーボール V・チャレンジリーグII 女子
(株)プレステージ・インターナショナル山形BPOガーデン(酒田市)

○プロスポーツチーム

- ・モンテディオ山形
サッカー J2リーグ
(株)モンテディオ山形(天童市)
- ・パスラボ山形ワイヴァンズ
バスケットボール B2リーグ
(株)パスラボ(山形市)

15. 山形県スポーツ褒賞受賞者の推移

【県教育委員会調べ】

◆山形県スポーツ賞 受賞者数(平成15年度制度全面改正)

平成30年3月5日現在

	大賞		栄光賞		栄誉賞		敢闘賞		功労賞	特別賞	地域 スポーツ 振興賞	計 (人・団体)
	うち 障がい者		うち 障がい者		うち 障がい者		うち 障がい者					
H15			53		24		37	20	1			115
H16			26		25	1	27	7			3	81
H17	2	1	79		27	1	39	16	2		3	152
H18			82	1	8	1	39	7		1	3	133
H19			58	2	21	1	52	10	1		3	135
H20	1		75	2	8		42	10		1	3	130
H21	2	1	64		10		30	8			2	108
H22			45	2	9		59	9			2	115
H23	1		22	1	5		50	4			2	80
H24			36	5	20	1	60	5			2	118
H25			59	2	26	2	34	5		1	2	122
H26			41	1	13	2	39	9	1		2	96
H27	1		57	7	26	1	17	7			2	103
H28	1		36	2	13	4	38	13	1		2	91
H29	2	1	68	2	14	1	33	8			2	119
合計	10	3	801	27	249	15	596	138	6	3	33	1,698

16. オリンピックメダリスト育成事業①

【県教育委員会】

事業目的

- 東京オリンピックに向け、本県からメダリストを輩出するという目標を掲げ、効果的な取組みを短期間で重点的・集中的に行う。
- また、これまでの取組みの過程で得られたノウハウや成果をレガシーとして継承し、東京以降の大会での活躍につなげていく。

1 東京オリンピックに向けた重点的かつ集中的な強化 Fast Track

・山形県にゆかりのある選手がオリンピックでの活躍・メダルの獲得に向け、重点的かつ集中的に支援を行う。

オリンピック特別活動支援

- 対象** オリンピックでの活躍・メダルの獲得が期待される「選手個人」(日本オリンピック委員会強化指定、中央競技団体強化指定)及びその選手個人のサポートを行う「競技団体」
- 対象経費**
 - ① 個人 遠征費、大会参加料、施設使用料、消耗品など 選手の個々の能力向上に資する経費
 - ② 競技団体 指導者の招聘派遣・配置、トレーナー派遣、用具購入(個人貸与含む)、合宿など 選手の練習環境づくりに資する経費(水球女子・ウエイトリフティング女子)
- 対象人数等**
 - ① 個人 <人数> 15名
 - ② 競技団体 <団体数> 2団体

2 次世代のメダリストの育成強化 Step By Step

・東京オリンピック以降を見据え、ジュニア期からの中・長期的な強化・育成戦略を推進し、次世代アスリートの発掘・育成・強化を図り、競技団体が、次世代のメダリストを目指し各段階における系統性(小・中、中・高)のある指導に対して支援を行う。

次世代アスリート育成支援

- 対象** ジュニア期の小中高連携した指導体制の確立を目指している競技団体(5競技団体)
- 対象経費** 小中高の有望選手を対象とした競技団体が主催する合宿・遠征費
- 支援団体数** 5団体(カヌー・ホッケー・バレーボール・フェンシング・スキー)

16. オリンピックメダリスト育成事業②

3 アスリートを支えるスポーツ医・科学の充実強化

・競技力向上には、① 医科学の知見に基づいた指導、② データに基づいた科学的トレーニング、③ 選手のニーズに合ったきめ細かなサポート、④ 選手意識の向上など、スポーツ医・科学による支援強化が必要であるため、マルチサポートセンターを設置し、アスリートの活動を支える環境づくりを行う。

マルチサポートセンター設置等

- 1 事業内容**
- ① マルチサポートセンターの設置、医・科学による選手サポートの強化に向け、県体育協会に専任スタッフ(2名)及び測定機材等の設置
 - ② アスリートチェックの測定者の拡充(150名)
 - ③ 医・科学トレーニングの知識を学ぶセミナーの開催(年2回)
- 2 参考** スポーツ医・科学センター設置 25道府県

「マルチサポートセンター」の構想

1 体制・内容

- ① **体制** 新たな実施体制で、コーディネーター等を配置し
 既存施設・機関を有機的に連携し実施
- ② **人員** 専門的な知識を有したスタッフの配置2～5名
- ③ **内容**
- (1) 常時、検査・助言を受けることのできる体制整備
 - (2) データの一元管理、蓄積と活用(即日フィードバック)
 - アスリートチェックの内容の充実、回数・人数の拡充
 - 迅速なチェック、分析によるトレーニングプランの作成
 - (3) トレーナー人材バンクの開設と大会派遣の拡充
 - 大会時におけるベストコンディション維持のためのサポート
 - (4) 先端の医・科学に関する研修・セミナーの実施
 - (5) 計測機器・トレーニング器具の充実 など

2 期待される効果

- ① 科学的根拠に基づいたトレーニングの実施
- ② 競技特性、アスリートに合ったトレーニングメニューの提供
- ③ 世界を見据えた最新のトレーニング方法の習得
- ④ 障害防止、自己パフォーマンスの飛躍的な向上
- ⑤ 適切なフィードバックによる競技力向上



3 スケジュール

- ～2017(H29) 設置に向けた準備
- 2018(H30) 設置に向けた準備・試行
 機器購入等の環境整備
- スポーツ医・科学支援
 アスリートチェック、トレーナー派遣等
- 大会・合宿等へ専門家派遣
 スポーツドクター・メタルトレーナー・栄養士等
- 専門スタッフ(2名)配置
 -先進施設視察
 ※8月設置準備、10月試行
- 2019(H31) センター本格稼働
- 2020(H32) 東京オリンピック・パラリンピック
- 2021(H33)～次期オリンピック・パラリンピックや団体
 国際大会に向けた次世代アスリート支援

(参考)他都道府県の設置状況

- 秋田県 県スポーツ科学センター
- 新潟県 県健康・スポーツ医科学センター

17. 山形県スポーツタレント発掘事業～YAMAGATAドリームキッズ～①

【県教育委員会】

■事業のねらい

- 1. オリンピックや国際大会などトップレベルで活躍する選手の輩出を目指します。
- 2. 世界レベルの大会で活躍できる選手を目指す子どもたちの“夢の実現”に向け、リーダーとしての資質を高め、本県の次世代の牽引役として育成します。
- 3. スポーツのみならず、社会適応能力、人間性、国際性などを備え持つ子どもたちを育成します。

■推進組織 山形県スポーツタレント発掘事業実行委員会

- 主催 山形県教育委員会
- 会長 吉村 美栄子 山形県知事
- 構成 山形県教育庁、山形県体育協会等体育・スポーツ団体、大学(山形大学・仙台大学)
 日本オリンピック委員会(JOC)日本スポーツ振興センター(JSC)日本スポーツ協会(JSPO)
- 事務局 山形県教育庁スポーツ保健課 競技力向上・アスリート育成推進室

■発掘 トライアル(選考)について

小学校3・4年生を対象に2回のトライアルを実施し毎年30名程度を選考します。

